

基本計画書

基		本				計		画			
事	項	記						入	欄	備	考
計 画 の 区 分		研究科の専攻に係る課程の変更									
フ リ ガ ナ 設 置 者		ガッコウホウジン ホウセイダイガク 学校法人 法政大学									
フ リ ガ ナ 大 学 の 名 称		ホウセイダイガク ダイガクイン 法政大学 大学院 (Hosei University Graduate School)									
大 学 本 部 の 位 置		東京都千代田区富士見二丁目17番1号									
大 学 の 目 的		高度にして専門的な学術の理論及び応用を教授研究し、栄誉ある学芸の殿堂としてひろく世界の文化を摂取し、知識の深奥を究め、もって世界平和と人類の福祉に寄与することを目的とする。									
新 設 学 部 等 の 目 的		スポーツ健康学研究科スポーツ健康学専攻修士課程は、スポーツ健康学を実践するために必要な幅広い知識と高度な専門性を修得するための総合的な教育を展開し、現代社会がスポーツ健康学分野において求める多面的な高度専門的職業人の養成を目的としている。具体的には、スポーツコーチング領域においては競技スポーツや教育現場において高度な指導能力を発揮できる人材、ヘルスプロモーション領域においては生涯を通じての積極的な健康づくりを支援できる人材、スポーツマネジメント領域においてはスポーツに関わる組織のよりよい管理・運営の在り方を追究できる人材の養成を目指している。 本研究科・博士後期課程では、上記の修士課程における人材養成の指針を引き受けながら、さらにスポーツ健康学に関わる知識と教養を深め、個々人の関心による各領域の高度な専門性を追究することはもちろん、自らが主体的に設定する課題を解決してその成果を積極的に社会に発信することができ、他者と協働しながらリーダーシップを発揮できる「スポーツ健康学高度開発者」を養成する。									
新設学部等の概要	新 設 学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は 称号	開設時期及び 開設年次	所 在 地	[基礎となる学部] スポーツ健康学部、 スポーツ健康学研究科修士課程		
	スポーツ健康学研究科 (Graduate School of Sports and Health Studies)	年	人	年次 人	人		年 月 第 年次				
	スポーツ健康学専攻 (Major in Sports and Health Studies) (博士後期課程) (Doctoral Degree Program (Sports and Health Studies))	3	4	-	12	博士 (スポーツ健康学) 【Doctor of Philosophy (Sports and Health Studies)】	令和3年4月 第一年次	東京都町田市相原町4342番地			
	計		4		12						
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)		法政大学〔定員増〕（164）（令和2年6月認可申請）									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数					修了要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計						
	スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻 (博士後期課程)	3 科目		7 科目		0 科目		10 科目		16 単位	
教員組織の概要	学 部 等 の 名 称			専任教員等					兼 任 教 員 等		
				教授	准教授	講師	助教	計		助手	
	新設分	スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻（博士後期課程）		人	人	人	人	人	人	人	
				6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	
				計	6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	— (—)
				小計	6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	— (—)
	既設分	人文科学研究科 哲学専攻（修士課程）		9 (9)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	10 (10)	
				9 (9)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	
				9 (9)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	— (—)	
				計	9 (9)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	— (—)

教員組織の概要	既設分	人文科学研究科 日本文学専攻（修士課程）	15 (15)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	19 (19)
		人文科学研究科 日本文学専攻（博士後期課程）	15 (15)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	1 (1)
		計	15 (15)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	— —
		人文科学研究科 英文学専攻（修士課程）	9 (9)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	8 (8)
		人文科学研究科 英文学専攻（博士後期課程）	9 (9)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)
		計	9 (9)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	— —
		人文科学研究科 史学専攻（修士課程）	6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	33 (33)
		人文科学研究科 史学専攻（博士後期課程）	6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	10 (10)
		計	6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	— —
		人文科学研究科 地理学専攻（修士課程）	5 (5)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	5 (5)
		人文科学研究科 地理学専攻（博士後期課程）	5 (5)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	1 (1)
		計	5 (5)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	— —
		人文科学研究科 心理学専攻（修士課程）	9 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	10 (10)
		人文科学研究科 心理学専攻（博士後期課程）	9 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)
		計	9 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	— —
		国際文化研究科 国際文化専攻（修士課程）	16 (16)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	8 (8)
		国際文化研究科 国際文化専攻（博士後期課程）	14 (14)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	0 (0)
		計	16 (16)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	— —
		経済学研究科 経済学専攻（修士課程）	42 (42)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	49 (49)	0 (0)	6 (6)
		経済学研究科 経済学専攻（博士後期課程）	42 (42)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	49 (49)	0 (0)	3 (3)
		計	42 (42)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	49 (49)	0 (0)	— —
		法学研究科 法律学専攻（修士課程）	26 (26)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	29 (29)	0 (0)	12 (12)
		法学研究科 法律学専攻（博士後期課程）	26 (26)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	28 (28)	0 (0)	1 (1)
		計	26 (26)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	29 (29)	0 (0)	— —
		政治学研究科 政治学専攻（修士課程）	13 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	17 (17)
		政治学研究科 政治学専攻（博士後期課程）	24 (24)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	0 (0)
		計	24 (24)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	— —
		政治学研究科 国際政治学専攻（修士課程）	11 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	6 (6)
		計	11 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	— —
		社会学研究科 社会学専攻（修士課程）	27 (27)	8 (8)	1 (1)	0 (0)	36 (36)	0 (0)	11 (11)
		社会学研究科 社会学専攻（博士後期課程）	27 (27)	8 (8)	1 (1)	0 (0)	36 (36)	0 (0)	4 (4)
		計	27 (27)	8 (8)	1 (1)	0 (0)	36 (36)	0 (0)	— —
		経営学研究科 経営学専攻（修士課程）	39 (39)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	45 (45)	0 (0)	9 (9)
		経営学研究科 経営学専攻（博士後期課程）	39 (39)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	45 (45)	0 (0)	0 (0)
		計	39 (39)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	45 (45)	0 (0)	— —

教員組織の概要	既設分	人間社会研究科 福祉社会専攻（修士課程）	16 (16)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	5 (5)
		人間社会研究科 臨床心理学専攻（修士課程）	8 (8)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	10 (10)	0 (0)	12 (12)
		人間社会研究科 人間福祉専攻（博士後期課程）	22 (22)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	0 (0)
		計	24 (24)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	28 (28)	0 (0)	－ －
		情報科学研究科 情報科学専攻（修士課程）	20 (20)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	28 (28)
		情報科学研究科 情報科学専攻（博士後期課程）	20 (20)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	0 (0)
		計	20 (20)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	－ －
		政策創造研究科 政策創造専攻（修士課程）	9 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	19 (19)
		政策創造研究科 政策創造専攻（博士後期課程）	9 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)
		計	9 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	－ －
		デザイン工学 建築学専攻（修士課程） 研究科	11 11	2 (2)	1 (1)	0 (0)	14 14	0 (0)	38 (38)
		デザイン工学 建築学専攻（博士後期課程） 研究科	9 (9)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)
		計	11 (11)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	－ －
		デザイン工学 都市環境デザイン工学専攻（修士課程） 研究科	6 (6)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	34 (34)
		デザイン工学 都市環境デザイン工学専攻（博士後期課程） 研究科	6 (6)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	0 (0)
		計	6 (6)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	－ －
		デザイン工学 システムデザイン専攻（修士課程） 研究科	9 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	22 (22)
		デザイン工学 システムデザイン専攻（博士後期課程） 研究科	9 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)
		計	9 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	－ －
		公共政策研究科 公共政策学専攻（修士課程）	11 (11)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	69 (69)
		公共政策研究科 公共政策学専攻（博士後期課程）	11 (11)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	0 (0)
		計	11 (11)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	－ －
		公共政策研究科 サステイナビリティ学専攻（修士課程）	17 (17)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	41 (41)
		公共政策研究科 サステイナビリティ学専攻（博士後期課程）	17 (17)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	3 (3)
		計	17 (17)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	－ －
		キャリアデザイン学研究科 キャリアデザイン学専攻（修士課程）	16 (16)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	4 (4)
		計	16 (16)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	－ －
		理工学研究科 機械工学専攻（修士課程）	11 (11)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	17 (17)
		理工学研究科 機械工学専攻（博士後期課程）	10 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)
		計	11 (11)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	－ －
		理工学研究科 電気電子工学専攻（修士課程）	9 (9)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	16 (16)
		理工学研究科 電気電子工学専攻（博士後期課程）	9 (9)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)
		計	9 (9)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	－ －
		理工学研究科 応用情報工学専攻（修士課程）	9 (9)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	15 (15)
		理工学研究科 応用情報工学専攻（博士後期課程）	9 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)
		計	9 (9)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	－ －

教員組織の概要	既設分	理工学研究科 システム理工学専攻 (修士課程)	20 (20)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	27 (27)	0 (0)	9 (9)
		理工学研究科 システム理工学専攻 (博士後期課程)	16 (16)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	0 (0)
		計	20 (20)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	27 (27)	0 (0)	－ －
		理工学研究科 応用化学専攻 (修士課程)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	17 (17)
		理工学研究科 応用化学専攻 (博士後期課程)	9 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)
		計	9 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	－ －
		理工学研究科 生命機能学専攻 (修士課程)	13 (13)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	16 (16)
		理工学研究科 生命機能学専攻 (博士後期課程)	13 (13)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	0 (0)
		計	13 (13)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	－ －
		スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻 (修士課程)	10 (10)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	8 (8)
		計	10 (10)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	8 (8)
		国際日本学インスティテュート (修士課程)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	76 (76)
		国際日本学インスティテュート (博士課程)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	29 (29)
		計	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	－ －
		連帯社会インスティテュート	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	26 (26)
		計	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	－ －
		法務研究科 法務専攻 (専門職学位課程)	19 (19)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	32 (32)
		計	19 (19)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	－ －
		イノベーション・マネジメント研究科 イノベーション・マネジメント専攻 (専門職学位課程)	16 (16)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	42 (42)
		計	16 (16)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	－ －
		研究科共通 (日本語) (修士課程)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)
		計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	－ －
		小計	485 (485)	80 (80)	10 (10)	1 (1)	576 (576)	0 (0)	－ －
		合 計	485 (485)	80 (80)	10 (10)	1 (1)	576 (576)	0 (0)	－ －
教員以外の職員の概要	職 種	専 任			兼 任		計		
	事 務 職 員	403 人 (403 人)			541 人 (541 人)		944 人 (944 人)		
	技 術 職 員	0 人 (0 人)			28 人 (28 人)		28 人 (28 人)		
	図 書 館 専 門 職 員	24 人 (24 人)			7 人 (7 人)		31 人 (31 人)		
	そ の 他 の 職 員	5 人 (5 人)			0 人 (0 人)		5 人 (5 人)		
	計	432 人 (432 人)			576 人 (576 人)		1,008人 (1,008 人)		
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の学校等の専用		計		
	校舎敷地	634,993.15㎡	－ ㎡		－ ㎡		634,993.15㎡		
	運動場用地	377,572.21㎡	－ ㎡		－ ㎡		377,572.21㎡		
	小 計	1,012,565.36㎡	－ ㎡		－ ㎡		1,012,565.36㎡		
	その他	45,670.15㎡	－ ㎡		－ ㎡		45,670.15㎡		
	合計	1,058,235.51㎡	－ ㎡		－ ㎡		1,058,235.51㎡		

校 舎			専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		借用建物457.81㎡含む ・八重洲市谷ビル（ 330.6㎡，借用期間：2020.10.1～ 2022.9.30） ・ユニコビル（127.21，借用期 間：2020.7.1～2022.6.30）			
			308,380.89㎡ （ 308,380.89㎡）	－ （ － ㎡）	－ （ － ㎡）	308,380.89㎡ （ 308,380.89㎡）					
教室等	講義室		演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体			
	302室		185室	286室	36室 （補助職員一人）	17室 （補助職員一人）					
専 任 教 員 研 究 室			新設学部等の名称		室 数						
			スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻（博士後期課程）		10 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	【大学全体での共用分】 図書(冊) 1,754,862〔572,663〕 学術雑誌(種) 52,534〔37,161〕 うち電子ジャーナル(点) 29,761〔29,743〕 視聴覚資料(点) 10,684		
	スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻 (博士後期課程)		70,573〔18,588〕 (70,573〔18,588〕)	14,683〔2,604〕 (14,683〔2,604〕)	－〔－〕 (－〔－〕)	66 (66)	－ (－)	－ (－)			
	計		70,573〔18,588〕 (70,573〔18,588〕)	14,683〔2,604〕 (14,683〔2,604〕)	－〔－〕 (－〔－〕)	66 (66)	－ (－)	－ (－)			
図書館			面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
			24,507 ㎡		3,218		2,473,000				
体育館			面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
			26,724.45㎡		なし						
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費 の見 積 り	区 分		開設前年度		第 1 年次		第 2 年次	第 3 次	研究科単位での算出不能なため、学部との合計。図書費には、電子ジャーナル，データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。	
		教員 1 人当り研究費等				772千円		772千円	772千円		
		共 同 研 究 費 等				6,024千円		6,054千円	6,084千円		
		図 書 購 入 費		0千円		17,029千円		17,114千円	17,199千円		
		設 備 購 入 費		40,040千円		32,270千円		32,270千円	32,270千円		
	学生 1 人 当り 納付金		第 1 年次		第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	自校とは、本学の学部 卒業者または大学院修 了者を指し、他校と は、その他の者を指す。	
		自校	670千円		670千円	670千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円		
		他校	870千円		670千円	670千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要				私立大学等経常費補助金，手数料収入 等						
	既設 大学等 の 状 況	大 学 の 名 称		法 政 大 学							
学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地		
法学部		年	人	年次 人	人		倍		東京都千代田区富士 見二丁目17番1号		
法律学科		4	483	－	1,932	学士 (法学)	1.03 1.02	昭和24年度			
政治学科		4	172	－	688	学士 (法学)	1.02	昭和24年度			
国際政治学科		4	149	－	596	学士 (法学)	1.04	平成17年度			
文学部									東京都千代田区富士 見二丁目17番1号		
哲学科		4	77	－	308	学士 (文学)	1.01 1.03	昭和24年度			
日本文学科		4	187	－	748	学士 (文学)	1.01	昭和24年度			
英文学科		4	126	－	504	学士 (文学)	1.02	昭和24年度			
史学科		4	100	－	400	学士 (文学)	1.01	昭和36年度			
地理学科		4	99	－	396	学士 (文学)	1.02	昭和36年度			
心理学科		4	66	－	264	学士 (文学)	1.03	平成15年度			

既設大学等の状況	経済学部 経済学科	4	482	—	1,928	学士 (経済学)	1.04 1.03	昭和24年度	東京都町田市相原町 4342番地	
	国際経済学科	4	244	—	976	学士 (経済学)	1.02	平成13年度		
	現代ビジネス学科	4	150	—	600	学士 (経済学)	1.08	平成17年度		
	社会学部 社会政策科学科	4	216	—	864	学士 (社会学)	0.99 1.02	昭和27年度	東京都町田市相原町 4342番地	
	社会学科	4	316	—	1,264	学士 (社会学)	0.98	昭和35年度		
	メディア社会学科	4	210	—	840	学士 (社会学)	0.97	平成14年度		
	経営学部 経営学科	4	316	—	1,264	学士 (経営学)	1.02 1.04	昭和34年度	東京都千代田区富士 見二丁目17番1号	
	経営戦略学科	4	232	—	928	学士 (経営学)	1.02	平成15年度		
	市場経営学科	4	213	—	852	学士 (経営学)	1.01	平成15年度		
	国際文化学部 国際文化学科	4	249	—	996	学士 (国際文化学)	1.03 1.03	平成11年度	東京都千代田区富士 見二丁目17番1号	
	人間環境学部 人間環境学科	4	333	—	1,332	学士 (人間環境学)	1.02 1.02	平成11年度		
	現代福祉学部 福祉コミュニティ学科	4	147	—	588	学士 (社会福祉学)	1.02 1.01	平成22年度	東京都町田市相原町 4342番地	
	臨床心理学科	4	84	—	336	学士 (臨床心理学)	1.04	平成22年度		
	情報科学部 コンピュータ科学科	4	78	—	312	学士 (理学)	0.99 1.02	平成12年度	東京都小金井市梶野 町三丁目7番2号	
	デジタルメディア学科	4	78	—	312	学士 (理学)	0.95	平成12年度		
	キャリアデザイン学部 キャリアデザイン学科	4	294	—	1,176	学士 (キャリアデザイン)	1.00 1.00	平成15年度	東京都千代田区富士 見二丁目17番1号	
	デザイン工学部 建築学科	4	132	—	528	学士 (工学)	1.01 0.98	平成19年度		
	都市環境デザイン工学科	4	80	—	320	学士 (工学)	0.99	平成19年度		
	システムデザイン学科	4	80	—	320	学士 (工学)	1.08	平成19年度	東京都小金井市梶野 町三丁目7番2号	
	理工学部 機械工学科	4	143	—	572	学士 (理工学)	1.01 0.97	平成20年度		
	電気電子工学科	4	110	—	440	学士 (理工学)	0.99	平成20年度		
	応用情報工学科	4	110	—	440	学士 (理工学)	1.01	平成20年度	東京都小金井市梶野 町三丁目7番2号	
	経営システム工学科	4	80	—	320	学士 (理工学)	1.09	平成20年度		
	創生科学科	4	110	—	440	学士 (理工学)	1.02	平成23年度		
	生命科学部 生命機能学科	4	72	—	288	学士 (生命科学)	0.97 1.00	平成20年度	東京都小金井市梶野 町三丁目7番2号	
	環境応用化学科	4	80	—	320	学士 (理学)	0.97	平成20年度		
	応用植物科学科	4	78	—	312	学士 (生命科学)	0.93	平成26年度		

既設大学等の状況	グローバル教養学部 グローバル教養学科	4	100	—	400	学士 (国際教養学)	0.99 0.99	平成20年度	東京都千代田区富士見二丁目17番1号	
	スポーツ健康学部 スポーツ健康学科	4	165	—	660	学士 (スポーツ健康学)	1.06 1.06	平成21年度	東京都町田市相原町4342番地	
	通信教育部									
	法学部 法律学科	4	3,000	—	12,000	学士 (法学)	0.06	昭和25年度	東京都千代田区富士見二丁目17番1号	
	文学部 日本文学科	4	3,000	—	12,000	学士 (文学)	0.08	昭和25年度	東京都千代田区富士見二丁目17番1号	
	史学科	4		—		学士 (文学)		昭和25年度		
	地理学科	4		—		学士 (文学)		昭和30年度		
	経済学部 経済学科	4	3,000	—	12,000	学士 (経済学)	0.13	昭和25年度	東京都千代田区富士見二丁目17番1号	
	商業学科	4		—		学士 (経済学)		昭和25年度		

大学院の名称		法政大学大学院									
既設大学等の状況	人文科学研究科 哲学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (哲学)	0.49	昭和26年度	東京都千代田区富士見二丁目17番1号		
						修士 (学術)					
	哲学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (哲学)	0.66	昭和30年度			
						博士 (学術)					
	日本文学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (文学)	1.67	昭和26年度			
						修士 (学術)					
	日本文学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (文学)	1.66	昭和30年度			
						博士 (学術)					
	英文学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (文学)	0.27	昭和26年度			
						修士 (学術)					
	英文学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (文学)	0.16	昭和30年度			
						博士 (学術)					
	史学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (歴史学)	0.90	昭和27年度			
						修士 (学術)					
	史学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (歴史学)	1.50	昭和30年度			
						博士 (学術)					
	地理学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (地理学)	0.49	昭和28年度			
						修士 (学術)					
	地理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (地理学)	1.00	昭和30年度			
						博士 (学術)					
	心理学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (心理学)	0.80	平成18年度	東京都千代田区富士見二丁目17番1号		
	心理学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (心理学)	0.33	平成18年度			
	国際文化研究科 国際文化専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (国際文化)	0.56	平成18年度	東京都千代田区富士見二丁目17番1号		
	国際文化専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (国際文化)	0.22	平成18年度			
	経済学研究科 経済学専攻 (修士課程)	2	50	—	100	修士 (経済学)	0.27	平成16年度	東京都千代田区富士見二丁目17番1号		
	経済学専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (経済学)	0.13	平成16年度			
	法学研究科 法律学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (法学)	0.40	平成16年度	東京都千代田区富士見二丁目17番1号		
	法律学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (法学)	0.40	平成16年度			

既設大学等の状況	政治学研究科 政治学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (政治学)	0. 55	平成16年度	東京都千代田区富士見二丁目17番1号	
	政治学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	修士 (学術) 博士 (政治学)	0. 06	平成16年度		
	国際政治学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (国際政治学)	0. 41	平成22年度		
	社会学研究科 社会学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (社会学)	0. 42	平成16年度	東京都千代田区富士見二丁目17番1号	令和2年度入学定員減（△15人） 令和元年12月に収容定員変更届出済
	社会学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (社会学)	0. 40	平成16年度		
						博士 (学術)				
	経営学研究科 経営学専攻 (修士課程)	2	60	—	120	修士 (経営学)	0. 68	平成16年度	東京都千代田区富士見二丁目17番1号	
	経営学専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (経営学)	0. 36	平成16年度		
	工学研究科 機械工学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士 (工学)	—	昭和40年度	東京都小金井市梶野町三丁目7番2号	平成25年4月より学生募集停止
	機械工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	昭和61年度		平成25年4月より学生募集停止
	物質化学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成12年度		平成25年4月より学生募集停止
	物質化学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成12年度		平成25年4月より学生募集停止
	電気工学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士 (工学)	—	昭和40年度		平成25年4月より学生募集停止
	電気工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	昭和43年度		平成25年4月より学生募集停止
	情報電子工学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成12年度		平成25年4月より学生募集停止
	情報電子工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成12年度		平成25年4月より学生募集停止
	建設工学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士 (工学)	—	昭和40年度		平成22年4月より学生募集停止
	建設工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	昭和61年度		平成22年4月より学生募集停止
	システム工学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士 (工学)	—	昭和62年度		平成25年4月より学生募集停止
	システム工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成元年度		平成25年4月より学生募集停止
	生命機能学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士 (理工学)	—	平成22年度		平成25年4月より学生募集停止
	生命機能学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (理工学)	—	平成22年度		平成25年4月より学生募集停止
	人間社会研究科 福祉社会専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (福祉社会)	0. 39	平成14年度	東京都町田市相原町4342番地	
						修士 (学術)				
	臨床心理学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (臨床心理学)	1. 03	平成14年度		
	人間福祉専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (人間福祉)	0. 53	平成14年度		
						博士 (学術)				

既設大学等の状況	情報科学研究科								東京都小金井市梶野町三丁目7番2号	
	情報科学専攻 (修士課程)	2	30	—	60	修士 (理学)	0.51	平成14年度		
	情報科学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (理学)	0.28	平成14年度		
	政策創造研究科								東京都千代田区富士見二丁目17番1号	
	政策創造専攻 (修士課程)	2	50	—	100	修士 (政策学)	0.96	平成20年度		
	政策創造専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (政策学)	0.60	平成20年度		
						博士 (学術)				
	デザイン工学研究科								東京都千代田区富士見二丁目17番1号	
	建築学専攻 (修士課程)	2	55	—	111	修士 (工学)	1.11	平成22年度		
	建築学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (工学)	1.00	平成22年度		
	都市環境デザイン工学専攻 (修士課程)	2	25	—	50	修士 (工学)	0.72	平成22年度		
	都市環境デザイン工学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (工学)	0.66	平成22年度		
	システムデザイン専攻 (修士課程)	2	30	—	60	修士 (工学)	0.44	平成22年度		
	システムデザイン専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (工学)	0.11	平成22年度		
	公共政策研究科								東京都千代田区富士見二丁目17番1号	
	公共政策学専攻 (修士課程)	2	25	—	50	修士 (公共政策学)	0.68	平成24年度		
						修士 (学術)				
	公共政策学専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (公共政策学)	0.66	平成24年度		
	サステイナビリティ学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (サステイナビリティ学)	0.66	平成28年度		
	サステイナビリティ学専攻 (博士後期課程)	2	5	—	15	博士 (サステイナビリティ学)	0.66	平成28年度		
	キャリアデザイン学研究科								東京都千代田区富士見二丁目17番1号	
	キャリアデザイン学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (キャリアデザイン学)	0.92	平成25年度		
	理工学研究科								東京都小金井市梶野町三丁目7番2号	
	機械工学専攻 (修士課程)	2	50	—	100	修士 (工学)	0.68	平成25年度		
	機械工学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (工学)	0.83	平成25年度		
	電気電子工学専攻 (修士課程)	2	50	—	100	修士 (工学)	0.78	平成25年度		
	電気電子工学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (工学)	0.26	平成25年度		
	応用情報工学専攻 (修士課程)	2	50	—	100	修士 (工学)	0.75	平成25年度		
	応用情報工学専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (工学)	0.72	平成25年度		
	システム理工学専攻 (修士課程)	2	75	—	150	修士 (工学)	0.34	平成25年度		
	システム理工学専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (工学)	0.19	平成25年度		
	応用化学専攻 (修士課程)	2	30	—	60	修士 (理工学)	0.89	平成25年度		
	応用化学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (理工学)	0.22	平成25年度		
	生命機能学専攻 (修士課程)	2	40	—	80	修士 (生命科学)	0.46	平成25年度		
	生命機能学専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (生命科学)	0.33	平成25年度		
	スポーツ健康学研究科									
	スポーツ健康学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (スポーツ健康学)	1.00	平成28年度		

既設大学等の状況	専門職大学院 法務研究科 法務専攻 (専門職学位課程)	3	30	—	90	法務博士 (専門職)	0.93	平成16年度	東京都千代田区富士見二丁目17番1号	平成29年度入学定員減（△30人）
	イノベーション・マネジメント研究科 イノベーション・マネジメント専攻 (専門職学位課程)	2	60	—	120	経営管理修士 (専門職) 経営情報修士 (専門職)	1.14	平成16年度	東京都千代田区富士見二丁目17番1号	
附属施設の概要		該当なし								

教 育 課 程 等 の 概 要																
(スポーツ健康学研究科スポーツ健康学専攻博士後期課程)																
科目 区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	スポーツ健康学高度開発特論A(ヘルス領域)		1・2 前		2		○			2	1				オムニバス	
	スポーツ健康学高度開発特論B(マネジメント領域)		1・2 前		2		○				2				オムニバス	
	スポーツ健康学高度開発特論C(コーチング領域)		1・2 前		2		○			3	1				オムニバス	
	小計 (3科目)		—	0	6	0	—			5	4					
研 究 指 導 科 目	スポーツ健康学高度開発研究Ⅰ		1 前	2				○		5	5					
	スポーツ健康学高度開発研究Ⅱ		1 後	2				○		5	5					
	スポーツ健康学高度開発研究Ⅲ		2 前	2				○		5	5					
	スポーツ健康学高度開発研究Ⅳ		2 後	2				○		5	5					
	スポーツ健康学高度開発研究Ⅴ		3 前	2				○		5	5					
	スポーツ健康学高度開発研究Ⅵ		3 後	2				○		5	5					
	小計 (6科目)		—	12	0	0	—			5	5					
演 習 科 目	スポーツ健康学高度開発演習 (実践研究/理論研究)		1・2 後	2				○		5	5					
	小計 (1科目)		—	2	0	0	—			5	5					
	合計 (10科目)		—	14	6	0	—			5	5					
学位又は称号		博士 (スポーツ健康学)			学位又は学科の分野				体育関係							
修了要件及び履修方法								授業期間等								
■修了要件 博士後期課程に3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。 ■履修方法 各科目区分につき以下のとおり履修する。 研究指導科目：「スポーツ健康学高度開発研究Ⅰ～Ⅵ」を合計6科目12単位を履修する。 専門科目：「スポーツ健康学高度開発特論A、B、C」のうち1科目2単位を履修する。 演習科目：「スポーツ健康学高度開発演習 (実践研究/理論研究)」 (2単位)を履修する。								1 学年の学期区分				2期				
								1 学期の授業期間				14週				
								1 時限の授業時間				100分				

授業科目の概要			
（スポーツ健康学研究科スポーツ健康学専攻博士後期課程）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	スポーツ健康学高度開発特論A（ヘルス領域）	（概要） スポーツ健康学高度開発特論A（ヘルス領域）では、履修者が生涯を通じての積極的な健康づくりを支援・指導できるようになるための専門的知識や技能を修得することを目的とし、身体の構造と機能に基づく評価・処置、運動器リハビリテーションについては医科学的なアプローチから（担当：① 泉重樹）、機能解剖学、運動生理学、運動指導については運動科学的アプローチから（担当：① 泉重樹、10 越智英輔）、健康教育、衛生学・公衆衛生学については健康科学的アプローチから解説する（担当：1 鬼頭英明）。なお、研究倫理教育として、本学が指定するeラーニングコースを利用した講義を1コマ分行う（担当：1 鬼頭英明）。 1 鬼頭英明（4回／14回） 生涯を通じたヘルスプロモーションは、ライフステージに応じた健康づくりが基本であるとともに、個人を取り巻く社会環境も大きく関わる。超高齢化社会が現実のものとなりつつある中で、一次予防を中心とする疾病予防対策が重要となっており、個人は言うまでもなく、社会全体としてどう取り組むべきかが重要な課題となっている。さらに、生涯を通じての健康行動の基礎づくりは教育が担うことから、学校教育における学校保健の視点は生涯を通じた健康につながる礎となる。課題克服のためには、個人を対象とするミクロの視点、集団を対象とするマクロの視点が欠かせない。本講義では、健康科学の視点を踏まえ、健康教育、公衆衛生学的アプローチでの事例をもとに、教育や行政施策上の効果的な方策を探り、ディスカッション・対話を通して履修者の理解を深める。 ① 泉重樹（7回／14回） 本講義では外傷・障害受傷や疾病、加齢に伴う退行性変化のなかであっても健康づくりを促進するための評価および処置（Evidence based practice）、特に運動療法を中心に理解を深めさせる。具体的には、アスレティックトレーニング領域における運動器の外傷・障害の予防およびリハビリテーション、リコンディショニングに関する実践、研究から解説し理解を深めさせる。また、姿勢やアライメント、習慣的動作など生活習慣が、①頸部、②腰部、③膝、足関節などに及ぼす影響を開説し、こうした運動器疾患をどのように予防すべきかを実践を交え検証しながら理解を深める。 10 越智英輔（3回／14回） 本講義では、健康づくりを高度に促進するための運動と栄養摂取について理解を深めさせる。具体的には、運動・栄養摂取による身体の適応に関してライフステージ別かつミクロ・マクロの視点から解説し、先端的知見について理解を深めさせる。あわせて、最新の生理・生化学的分析法についても紹介する。	オムニバス方式
	スポーツ健康学高度開発特論B（マネジメント領域）	（概要） スポーツ健康学高度開発特論B（マネジメント系）では、スポーツ組織のマネジメントに関する基礎的かつ専門的知識を修得することを目的とし、履修者はスポーツ組織の内部環境と外部環境のマネジメントについて学ぶ。スポーツ組織の内部環境のマネジメントについては組織論、組織行動論、社会心理学などのアプローチから理解を深める（担当：9 伊藤真紀）。スポーツ組織の外部環境のマネジメントについては、マーケティング論、消費者行動論、社会心理学などのアプローチから学習する（担当：② 吉田政幸）。なお、研究倫理教育として、本学が指定するeラーニングコースを利用した講義を1コマ分行う（担当：② 吉田政幸）。 9 伊藤真紀（7回／14回）テーマ：内部環境のマネジメント スポーツ組織をマネジメントする際に必要な知識を学ぶ。スポーツにおける組織論の諸理論を多角的（経営組織論、人的資源管理論、経営管理論、経営戦略論、リーダーシップ論、モチベーション理論など）に学ぶ。スポーツ組織における組織形態、経営組織と集団行動（チームのダイナミクス）、組織文化について学び、経営環境を形成するドメイン、経営環境の不確実性、不確実性への対応、経営資源をコントロールすることについて学修する。また、更なる知識の取得として、スポーツ組織のガバナンス事例やケーススタディーを通してスポーツ組織を効果的にマネジメントするための基本的な理論を学修する。 ② 吉田政幸（7回／14回）テーマ：外部環境のマネジメント スポーツ組織による外部環境のマネジメントは組織レベルと消費者レベルに分かれる。組織レベルは市場や社会がスポーツに求めるニーズや要請を見極め、対応するスポーツマーケティング論である。一方、消費者レベルはスポーツをする、またはみるという形で消費する人々の心理や行動を対象とするスポーツ消費者行動論である。 世の中が急速に変化する中、スポーツ組織を取り巻く外部環境は複雑化している。スポーツ組織が外部環境に適応し、持続的に成長するためには、そのサービス、イベント、製品が社会の中で広く普及するだけでなく、これらを消費する人々の行動が高い文化性を帯びていなければならない。現代社会においてスポーツという文化的活動が果たす役割は大きく、その恩恵をより多くの人々に提供するためには、「スポーツマーケティング論」と「スポーツ消費者行動論」という二つのアプローチが有効であり、本講義はこれらについて理解を深める。	オムニバス方式

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	スポーツ健康学高度開発特論C（コーチング領域）	（概要） スポーツ健康学高度開発特論C（コーチング領域）では、履修者がスポーツ・パフォーマンスの発揮に関する専門的知識を修得することを目的とし、スポーツ・パフォーマンス向上のための技術・方法については自然科学的アプローチから（担当：4 平野裕一・7 林容市）、メンタル・トレーニングやメンタル強化のための技術・方法については心身科学的アプローチから解説する（担当：6 中澤史）。また、生涯スポーツに結びつく学校体育や社会一般も含めたスポーツ教育のよりよいあり方について人文社会科学的アプローチから解説し、履修者の理解を深める（担当：5 永木耕介）。なお、研究倫理教育として、本学が指定するeラーニングコースを利用した講義を1コマ分行う（担当：5 永木耕介）。 4 平野裕一（3回／14回）テーマ：スポーツ・パフォーマンス向上のためのトレーニング科学とスポーツバイオメカニクス スポーツのパフォーマンスを向上させるためには適切なフィジカルおよびスキル・トレーニングが施され、その結果としての動作の改善が求められる。本講義では、これまでのフィジカルおよびスキル・トレーニングの知見を提供し、新たなトレーニングを模索・研究するための材料とする。一方で、それらトレーニングが動作に及ぼす影響を理解するためのスポーツバイオメカニクスを学習する。 7 林容市（3回／14回）テーマ：コーチングや技能習得における測定と評価 スポーツのパフォーマンス向上を目指すためには、競技者および指導者共に、スポーツやトレーニングに臨む際の身体状態やポテンシャルを正確に把握することが重要な要因となる。本講義では、スポーツのコーチングやトレーニングに関連した体力学、生理学および体力測定評価学領域の基礎知識に基づき、履修者が個々人のスポーツ競技レベルやポテンシャル等を測定・評価しうる信頼性・妥当性の高いテスト法やデータの収集法を学修する。さらに、適切なデータの分析・評価法、統計手法についても合わせて解説する。 6 中澤史（4回／14回）テーマ：アスリートの心理支援とその効果 アスリートの心理的課題は、実力発揮や競技力向上といった競技に直接かかわる心理的諸問題だけではなく、指導者やチームメイトなどとの間に生じる人間関係の軋轢、学業との両立に関する問題、競技引退後の進路にかかわる問題など多岐にわたる。このような現状に鑑みると、アスリートに施す心理支援の効果について検討する際、その競技力向上効果について論じるだけでなく、その背景でなされる人格形成や心理社会的スキルの向上効果についても検討する必要がある。本講義では、アスリートの心理支援の理論と方法およびその効果について、応用スポーツ心理学および臨床スポーツ心理学に依拠した事例を取り上げ、ディスカッションや対話を通して履修者の理解を深める。 5 永木耕介（4回／14回）テーマ：生涯スポーツ教育 「生涯スポーツ」という概念が広がって久しいが、日本では国民全体のスポーツに関わる時間をみても、日常的に世代を通してスポーツが実践されているとはいえない状況にある。学校体育が依拠する学習指導要領においても「生涯に及んでスポーツに親しむ」ことが目標となっているが、その目標達成を真に可能とする実効性のある理論と方法が求められている。この課題解決のためには、生活様式、労働実態、スポーツ環境、政策、費用等々、多くの改善しなければならない社会的要因が絡み合っているが、最も大切なことは、より多くの人が「スポーツの価値」について負の側面も含めて認識し、それを共有し、スポーツを生活化していく強い態度を形成することであると考えられる。本講義では、「スポーツの価値」とは何であるのか、そして、それをどのようにして教え学んでいくべきなのかについて、通時的かつ通文化的な広い視点からいくつかの事例を取り上げ、ディスカッション・対話を通して履修者の理解を深める。	オムニバス方式
研究指導科目	スポーツ健康学高度開発研究Ⅰ	（概要） 研究倫理の徹底や論文英語のリーディング・ライティングの能力等、基礎的な研究スキルを高めながら、研究テーマに関する先行研究・情報データの蒐集とそれらの整理・検討の方法についての支援・指導を行い、研究構想・計画の立案を進めていく。 主なテーマ：トレーニング科学・スポーツバイオメカニクス（4 平野裕一）、健康教育・公衆衛生学（1 鬼頭英明）、スポーツ教育学（5 永木耕介）、アスレティックトレーニング、スポーツ外傷・障害予防、運動器リハビリテーション（① 泉重樹）、スポーツ心理学（6 中澤史）、体力学・体力測定評価学（7 林容市）、運動生理学（10 越智英輔）、スポーツマーケティング（② 吉田政幸）、スポーツマネジメント（主担当：② 吉田政幸 副担当：9 伊藤真紀）、ライフスキルコーチング（③ 島本好平）	
	スポーツ健康学高度開発研究Ⅱ	（概要） 先行研究・情報データの分析・検討結果をまとめ、研究テーマに関するこれまでの国内外の研究成果と課題を明確にするとともに、博士論文における研究目的および研究計画を明確に設定するための支援・指導を行う。また、1年次の後期に設定される博士論文計画発表会を機に、プレゼンテーション力・論理的説明力を向上させるための支援・指導を行う。 主なテーマ：トレーニング科学・スポーツバイオメカニクス（4 平野裕一）、健康教育・公衆衛生学（1 鬼頭英明）、スポーツ教育学（5 永木耕介）、アスレティックトレーニング、スポーツ外傷・障害予防、運動器リハビリテーション（① 泉重樹）、スポーツ心理学（6 中澤史）、体力学・体力測定評価学（7 林容市）、運動生理学（10 越智英輔）、スポーツマーケティング（② 吉田政幸）、スポーツマネジメント（主担当：② 吉田政幸 副担当：9 伊藤真紀）、ライフスキルコーチング（③ 島本好平）	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	スポーツ健康学高度開発研究Ⅲ	(概要) 博士論文を進展させるため、研究目的に応じた研究方法の選定や開発についての指導・助言を行いながら、具体的に実験・調査等の準備を整え、計画を実行していくための支援を行う。 主なテーマ：トレーニング科学・スポーツバイオメカニクス（４ 平野裕一）、健康教育・公衆衛生学（１ 鬼頭英明）、スポーツ教育学（５ 永木耕介）、アスレティックトレーニング、スポーツ外傷・障害予防、運動器リハビリテーション（① 泉重樹）、スポーツ心理学（６ 中澤史）、体力学・体力測定評価学（７ 林容市）、運動生理学（１０ 越智英輔）、スポーツマーケティング（② 吉田政幸）、スポーツマネジメント（主担当：② 吉田政幸 副担当：９ 伊藤真紀）、ライフスキルコーチング（③ 島本好平）	
	スポーツ健康学高度開発研究Ⅳ	(概要) 博士論文を進展させるために、実験・調査・文献等によるデータ獲得をさらに進めるよう指示し、それらデータの整理・分析・検討の方法に対する指導・助言を行う。また、２年次の後期に設定される博士論文中間発表会を機に、プレゼンテーション力・論理的説明力を向上させるための支援・指導を行う。 主なテーマ：トレーニング科学・スポーツバイオメカニクス（４ 平野裕一）、健康教育・公衆衛生学（１ 鬼頭英明）、スポーツ教育学（５ 永木耕介）、アスレティックトレーニング、スポーツ外傷・障害予防、運動器リハビリテーション（① 泉重樹）、スポーツ心理学（６ 中澤史）、体力学・体力測定評価学（７ 林容市）、運動生理学（１０ 越智英輔）、スポーツマーケティング（② 吉田政幸）、スポーツマネジメント（主担当：② 吉田政幸 副担当：９ 伊藤真紀）、ライフスキルコーチング（③ 島本好平）	
	スポーツ健康学高度開発研究Ⅴ	(概要) 博士論文の作成へ向けてさらにデータの分析・検討を進めるよう指示し、十分なデータの質および量を確保できているかをチェックする。また、分析・検討の結果に対する考察の方法について指導・助言を行う。 主なテーマ：トレーニング科学・スポーツバイオメカニクス（４ 平野裕一）、健康教育・公衆衛生学（１ 鬼頭英明）、スポーツ教育学（５ 永木耕介）、アスレティックトレーニング、スポーツ外傷・障害予防、運動器リハビリテーション（① 泉重樹）、スポーツ心理学（６ 中澤史）、体力学・体力測定評価学（７ 林容市）、運動生理学（１０ 越智英輔）、スポーツマーケティング（② 吉田政幸）、スポーツマネジメント（主担当：② 吉田政幸 副担当：９ 伊藤真紀）、ライフスキルコーチング（③ 島本好平）	
	スポーツ健康学高度開発研究Ⅵ	(概要) 博士論文の完成へ向けて、これまでに獲得した結果をまとめ、考察を深めていくための支援・指導を行う。また、研究テーマ・目的・方法・結果・考察・結論の整合性を検討し、研究の限界および今後の課題についても明確にするよう指示する。 主なテーマ：トレーニング科学・スポーツバイオメカニクス（４ 平野裕一）、健康教育・公衆衛生学（１ 鬼頭英明）、スポーツ教育学（５ 永木耕介）、アスレティックトレーニング、スポーツ外傷・障害予防、運動器リハビリテーション（① 泉重樹）、スポーツ心理学（６ 中澤史）、体力学・体力測定評価学（７ 林容市）、運動生理学（１０ 越智英輔）、スポーツマーケティング（② 吉田政幸）、スポーツマネジメント（主担当：② 吉田政幸 副担当：９ 伊藤真紀）、ライフスキルコーチング（③ 島本好平）	
演習科目	スポーツ健康学高度開発演習（実践研究/理論研究）	(概要) 当演習科目は、実践に精通した博士号取得者の養成をねらいとし、「実践研究」を中心に進める。主・副指導教員による指導のもとで一定期間、自由に選択した課題に従事し、成果をコース内において発表し、集団指導による評価を受ける。一例を挙げると、日本スポーツ心理学会による「スポーツメンタルトレーニング指導士」資格取得の条件として「修士号を有したうえで30時間以上の指導実績」が課せられているが、その指導実績を積むプロセスで浮上した自己の課題とそれを解決／改善するための方法論を提示し、積極的に学生個人および斯界に役立つ知見をもたらす、等である。 また、履修者がすでに高度な実践者の域に達している場合や、博士論文との関連で理論的側面を充実させる必要がある場合には、必ずしも実践に即した研究成果を求めず、「理論研究」を行うことも可とする。 主な演習テーマ：スポーツの競技力向上（４ 平野裕一）、学校保健（１ 鬼頭英明）、スポーツ教育学（５ 永木耕介）、アスレティックトレーニング、スポーツ外傷・障害予防、運動器リハビリテーション（① 泉重樹）、スポーツ心理学（６ 中澤史）、体力学・体力測定評価学（７ 林容市）、運動生理学（１０ 越智英輔）、スポーツマーケティング（② 吉田政幸）、スポーツマネジメント（主担当：② 吉田政幸 副担当：９ 伊藤真紀）、ライフスキルコーチング（③ 島本好平）	

学校法人法政大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
法政大学					法政大学				
法学部					法学部				
法律学科	483	—	1,932		法律学科	<u>493</u>	—	<u>1,972</u>	定員変更(10)
政治学科	172	—	688		政治学科	<u>176</u>	—	<u>704</u>	定員変更(4)
国際政治学科	149	—	596		国際政治学科	<u>152</u>	—	<u>608</u>	定員変更(3)
文学部					文学部				
哲学科	77	—	308		哲学科	<u>79</u>	—	<u>316</u>	定員変更(2)
日本文学科	187	—	748		日本文学科	<u>191</u>	—	<u>764</u>	定員変更(4)
英文学科	126	—	504		英文学科	<u>129</u>	—	<u>516</u>	定員変更(3)
史学科	100	—	400		史学科	<u>102</u>	—	<u>408</u>	定員変更(2)
地理学科	99	—	396		地理学科	<u>101</u>	—	<u>404</u>	定員変更(2)
心理学科	66	—	264		心理学科	<u>68</u>	—	<u>272</u>	定員変更(2)
経済学部					経済学部				
経済学科	482	—	1,928		経済学科	<u>492</u>	—	<u>1,968</u>	定員変更(10)
国際経済学科	244	—	976	→	国際経済学科	<u>249</u>	—	<u>996</u>	定員変更(5)
現代ビジネス学科	150	—	600		現代ビジネス学科	<u>153</u>	—	<u>612</u>	定員変更(3)
社会学部					社会学部				
社会政策科学科	216	—	864		社会政策科学科	<u>221</u>	—	<u>884</u>	定員変更(5)
社会学科	316	—	1,264		社会学科	<u>323</u>	—	<u>1,292</u>	定員変更(7)
メディア社会学科	210	—	840		メディア社会学科	<u>215</u>	—	<u>860</u>	定員変更(5)
経営学部					経営学部				
経営学科	316	—	1,264		経営学科	<u>326</u>	—	<u>1,304</u>	定員変更(10)
経営戦略学科	232	—	928		経営戦略学科	<u>237</u>	—	<u>948</u>	定員変更(5)
市場経営学科	213	—	852		市場経営学科	<u>218</u>	—	<u>872</u>	定員変更(5)
国際文化学部					国際文化学部				
国際文化学科	249	—	996		国際文化学科	<u>254</u>	—	<u>1,016</u>	定員変更(5)
人間環境学部					人間環境学部				
人間環境学科	333	—	1,332		人間環境学科	<u>343</u>	—	<u>1,372</u>	定員変更(10)

令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
現代福祉学部			
福祉コミュニティ学科	147	—	588
臨床心理学科	84	—	336
情報科学部			
コンピュータ科学科	78	—	312
デジタルメディア学科	78	—	312
キャリアデザイン学部			
キャリアデザイン学科	294	—	1,176
デザイン工学部			
建築学科	132	—	528
都市環境デザイン工学科	80	—	320
システムデザイン学科	80	—	320
理工学部			
機械工学科	143	—	572
電気電子工学科	110	—	440
応用情報工学科	110	—	440
経営システム工学科	80	—	320
創生科学科	110	—	440
生命科学部			
生命機能学科	72	—	288
環境応用化学科	80	—	320
応用植物科学科	78	—	312
グローバル教養学部			
グローバル教養学科	100	—	400
スポーツ健康学部			
スポーツ健康学科	165	—	660
学部計			
学部計	6,441	—	25,764

→

令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
現代福祉学部				
福祉コミュニティ学科	<u>150</u>	—	<u>600</u>	定員変更(3)
臨床心理学科	<u>86</u>	—	<u>344</u>	定員変更(2)
情報科学部				
コンピュータ科学科	<u>80</u>	—	<u>320</u>	定員変更(2)
デジタルメディア学科	<u>80</u>	—	<u>320</u>	定員変更(2)
キャリアデザイン学部				
キャリアデザイン学科	<u>300</u>	—	<u>1,200</u>	定員変更(6)
デザイン工学部				
建築学科	<u>135</u>	—	<u>540</u>	定員変更(3)
都市環境デザイン工学科	<u>82</u>	—	<u>328</u>	定員変更(2)
システムデザイン学科	<u>82</u>	—	<u>328</u>	定員変更(2)
理工学部				
機械工学科	<u>146</u>	—	<u>584</u>	定員変更(3)
電気電子工学科	<u>113</u>	—	<u>452</u>	定員変更(3)
応用情報工学科	<u>113</u>	—	<u>452</u>	定員変更(3)
経営システム工学科	80	—	320	
創生科学科	<u>113</u>	—	<u>452</u>	定員変更(3)
生命科学部				
生命機能学科	<u>74</u>	—	<u>296</u>	定員変更(2)
環境応用化学科	<u>82</u>	—	<u>328</u>	定員変更(2)
応用植物科学科	<u>80</u>	—	<u>320</u>	定員変更(2)
グローバル教養学部				
グローバル教養学科	<u>102</u>	—	<u>408</u>	定員変更(2)
スポーツ健康学部				
スポーツ健康学科	<u>185</u>	—	<u>740</u>	定員変更(20)
学部計				
学部計	<u>6,605</u>	—	<u>26,420</u>	

令和2年度		入学 定員	編入学 定員	収容 定員
法政大学通信教育部				
法学部				
	法律学科	3,000	—	12,000
文学部	日本文学科	3,000	—	12,000
	史学科			
	地理学科			
経済学部				
	経済学科	3,000	—	12,000
	商業学科			
計		9,000	—	36,000
法政大学大学院				
人文科学研究科				
	哲学専攻(M)	15	—	30
	哲学専攻(D)	2	—	6
	日本文学専攻(M)	20	—	40
	日本文学専攻(D)	2	—	6
	英文学専攻(M)	20	—	40
	英文学専攻(D)	2	—	6
	史学専攻(M)	15	—	30
	史学専攻(D)	2	—	6
	地理学専攻(M)	15	—	30
	地理学専攻(D)	2	—	6
	心理学専攻(M)	10	—	20
	心理学専攻(D)	3	—	9
国際文化研究科				
	国際文化専攻(M)	15	—	30
	国際文化専攻(D)	3	—	9
経済学研究科				
	経済学専攻(M)	50	—	100
	経済学専攻(D)	10	—	30

→

令和3年度		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
法政大学通信教育部					
法学部					
	法律学科	3,000		12,000	
文学部	日本文学科	3,000		12,000	
	史学科				
	地理学科				
経済学部					
	経済学科	3,000		12,000	
	商業学科				
計		9,000	—	36,000	
法政大学大学院					
人文科学研究科					
	哲学専攻(M)	15	—	30	
	哲学専攻(D)	2	—	6	
	日本文学専攻(M)	20	—	40	
	日本文学専攻(D)	2	—	6	
	英文学専攻(M)	20	—	40	
	英文学専攻(D)	2	—	6	
	史学専攻(M)	15	—	30	
	史学専攻(D)	2	—	6	
	地理学専攻(M)	15	—	30	
	地理学専攻(D)	2	—	6	
	心理学専攻(M)	10	—	20	
	心理学専攻(D)	3	—	9	
国際文化研究科					
	国際文化専攻(M)	15	—	30	
	国際文化専攻(D)	3	—	9	
経済学研究科					
	経済学専攻(M)	50	—	100	
	経済学専攻(D)	10	—	30	

令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
法学研究科			
法律学専攻(M)	20	—	40
法律学専攻(D)	5	—	15
政治学研究科			
政治学専攻(M)	10	—	20
政治学専攻(D)	5	—	15
国際政治学専攻(M)	10	—	20
社会学研究科			
社会学専攻(M)	20	—	40
社会学専攻(D)	5	—	15
経営学研究科			
経営学専攻(M)	60	—	120
経営学専攻(D)	10	—	30
人間社会研究科			
福祉社会専攻(M)	15	—	30
臨床心理学専攻(M)	15	—	30
人間福祉専攻(D)	5	—	15
情報科学研究科			
情報科学専攻(M)	30	—	60
情報科学専攻(D)	5	—	15
政策創造研究科			
政策創造専攻(M)	50	—	100
政策創造専攻(D)	10	—	30
デザイン工学研究科			
建築学専攻(M)	55	—	111
建築学専攻(D)	2	—	6
都市環境デザイン工学専攻(M)	25	—	52
都市環境デザイン工学専攻(D)	2	—	6
システムデザイン専攻(M)	30	—	60
システムデザイン専攻(D)	3	—	9



令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
法学研究科				
法律学専攻(M)	20	—	40	
法律学専攻(D)	5	—	15	
政治学研究科				
政治学専攻(M)	10	—	20	
政治学専攻(D)	5	—	15	
国際政治学専攻(M)	10	—	20	
社会学研究科				
社会学専攻(M)	20	—	40	
社会学専攻(D)	5	—	15	
経営学研究科				
経営学専攻(M)	60	—	120	
経営学専攻(D)	10	—	30	
人間社会研究科				
福祉社会専攻(M)	15	—	30	
臨床心理学専攻(M)	15	—	30	
人間福祉専攻(D)	5	—	15	
情報科学研究科				
情報科学専攻(M)	30	—	60	
情報科学専攻(D)	5	—	15	
政策創造研究科				
政策創造専攻(M)	50	—	100	
政策創造専攻(D)	10	—	30	
デザイン工学研究科				
建築学専攻(M)	55	—	111	
建築学専攻(D)	2	—	6	
都市環境デザイン工学専攻(M)	25	—	52	
都市環境デザイン工学専攻(D)	2	—	6	
システムデザイン専攻(M)	30	—	60	
システムデザイン専攻(D)	3	—	9	

令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
公共政策研究科			
公共政策学専攻(M)	25	—	50
公共政策学専攻(D)	10	—	30
サステイナビリティ学専攻(M)	15	—	30
サステイナビリティ学専攻(D)	5	—	15
キャリアデザイン学研究科			
キャリアデザイン学専攻(M)	20	—	40
理工学研究科			
機械工学専攻(M)	50	—	100
機械工学専攻(D)	2	—	6
電気電子工学専攻(M)	50	—	100
電気電子工学専攻(D)	5	—	15
応用情報工学専攻(M)	50	—	100
応用情報工学専攻(D)	4	—	12
システム工学専攻(M)	75	—	150
システム工学専攻(D)	4	—	12
応用化学専攻(M)	30	—	60
応用化学専攻(D)	3	—	9
生命機能学専攻(M)	40	—	80
生命機能学専攻(D)	4	—	12
スポーツ健康学研究科			
スポーツ健康学専攻(M)	10	—	20
修士課程(M)計			
修士課程(M)計	865	—	1,733
博士後期課程(D)計			
博士後期課程(D)計	115	—	345
法政大学専門職大学院			
法務研究科			
法務専攻	60	—	180
イノベーション・マネジメント研究科			
イノベーション・マネジメント専攻	60	—	120
計			
計	120		300



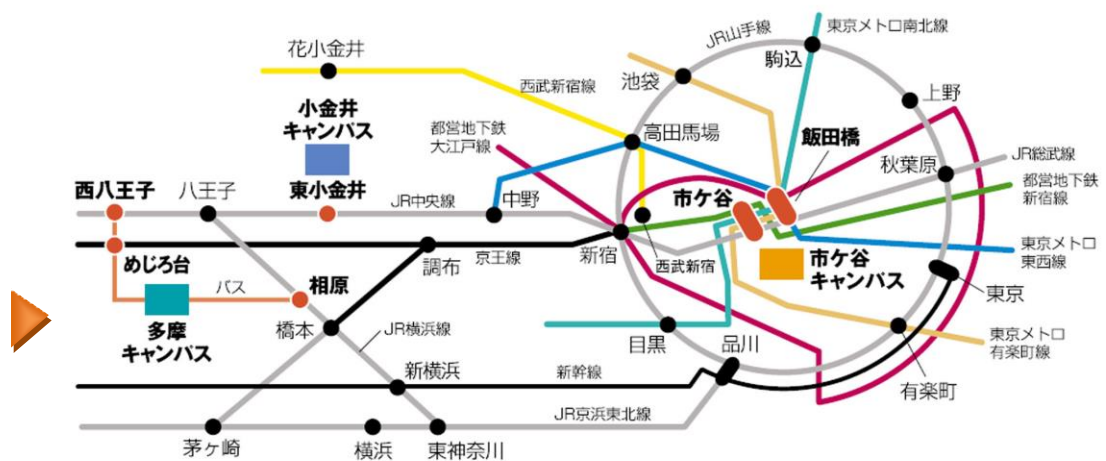
令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
公共政策研究科				
公共政策学専攻(M)	25	—	50	
公共政策学専攻(D)	10	—	30	
サステイナビリティ学専攻(M)	15	—	30	
サステイナビリティ学専攻(D)	5	—	15	
キャリアデザイン学研究科				
キャリアデザイン学専攻(M)	20	—	40	
理工学研究科				
機械工学専攻(M)	50	—	100	
機械工学専攻(D)	2	—	6	
電気電子工学専攻(M)	50	—	100	
電気電子工学専攻(D)	5	—	15	
応用情報工学専攻(M)	50	—	100	
応用情報工学専攻(D)	4	—	12	
システム工学専攻(M)	75	—	150	
システム工学専攻(D)	4	—	12	
応用化学専攻(M)	30	—	60	
応用化学専攻(D)	3	—	9	
生命機能学専攻(M)	40	—	80	
生命機能学専攻(D)	4	—	12	
スポーツ健康学研究科				
スポーツ健康学専攻(M)	10	—	20	
<u>スポーツ健康学専攻(D)</u>	<u>4</u>	—	<u>12</u>	課程の変更(認可申請)
修士課程(M)計				
修士課程(M)計	865	—	1,733	
博士後期課程(D)計				
博士後期課程(D)計	<u>119</u>	—	<u>357</u>	
法政大学専門職大学院				
法務研究科				
法務専攻	60	—	180	
イノベーション・マネジメント研究科				
イノベーション・マネジメント専攻	60	—	120	
計				
計	120		300	

法政大学キャンパス所在地

市ヶ谷キャンパス 東京都千代田区富士見 2-17-1

小金井キャンパス 東京都小金井市梶野町 3-7-2

多摩キャンパス 東京都町田市相原町 4342



[illegible]

【京王線】 新宿駅から準特急で 40 分（急行で 50 分）、めじろ台駅下車、バスで約 10 分
 【JR 線】 中央線：新宿駅から快速で 54 分（特別快速で 42 分）、西八王子駅下車、バスで約 22 分
 【JR 線】 横浜線：新横浜駅から 38 分、相原駅下車、バスで約 13 分
 ＊上記各バスで「法政大学」下車

82	大宮駅	JR埼京線快速 約32分	新宿駅	京王線準特急 約40分	めじろ台駅	バス 約10分
114	千葉駅	JR総武線快速 約39分	東京駅	JR中央線中央特別快速 約53分	西八王子駅	バス 約22分
25	八王子駅	JR中央線 約3分			西八王子駅	バス 約22分
28	町田駅	JR横浜線 約15分			相原駅	バス 約13分
62	横浜駅	JR横浜線 約13分	※ 新横浜駅	JR横浜線 約36分	相原駅	バス 約13分

内の数字は、総所要時間(乗り換え時間を除く)を表す。
 ※ 新横浜駅は経由で、乗り換えではありません。

